

授業科目名	理容技術理論 1			開講年度	令和6年度
担当教員	金谷 健興 ・ 中条 政彦 ・ 中濱 美智子			教員の実務経験の有無	有 (4年以上)
授業科目区分	必修	授業形態	講義	単位数	1単位
対象学年	1学年		開講学期	1学期	
履修条件	特になし				
教科書・教材	理容技術理論 1 教科書				
授業の到達目標					
①それぞれの技術に必要な用具の名称や使い方、種類、取り扱いについて理解し、実践に活用する。					
②各技術の目的や順序を理解し、技術の習得を早める。					
③各技術において、知識を増やし様々なお客様に対応できる基礎知識をつくる。					
授業概要					
理論で分かり、実習で出来る。これが理容師になる一番の早道である。将来は自分で考え、工夫し、レベルをより高める事が出来るのは、全て基本技術が身に付くことが条件になる。					
回	授業内容				
①	理容技術理論を学ぶにあたって				
②	理容技術の基礎知識				
③～⑤	理容用具				
⑥～⑧	理容用具				
⑨～⑪	理容用具				
⑫～⑭	理容用具				
⑮	ヘアデザイン				
⑯～⑲	ヘアカッティング				
⑳～㉒	ヘアカッティング				
㉓～㉕	ヘアカッティング				
㉖	ヘアセッティング				
㉗	パーマメントセット				
㉘	パーマメントセット				
㉙～㉚	ヘアカラーリング				
㉛	期末試験				
成績評価	筆記試験 100%				
履修上の注意	無し				
その他					

授業科目名	理容技術理論 2			開講年度	令和6年度
担当教員	金谷 健興 ・ 中条 政彦 ・ 中濱 美智子	教員の実務経験の有無		有 (4年以上)	
授業科目区分	必修	授業形態	講義	単位数	2単位
対象学年	1 学年		開講学期	2学期	
履修条件	特になし				
教科書・教材	理容技術理論 1 ・ 2 教科書				
授業の到達目標					
①それぞれの技術に必要な用具の名称や使い方、種類、取り扱いについて理解し、実践に活用する。					
②各技術の目的や順序を理解し、技術の習得を早める。					
③各技術において、知識を増やし様々なお客様に対応できる基礎をつくる。					
授業概要					
理論で分かり、実習できる。これが理容師になる一番の早道である。将来は自分で考え、工夫し、レベルをより高める事ができるのは全て基本技術が身に付くことが条件になる。					
回	授業内容				
①～	シェービング				
	シェービング				
	シェービング				
～⑪	シェービング				
⑫～⑬	理容エステティック				
⑭～⑮	理容エステティック				
⑯～⑰	理容クリニック				
⑱～⑲	シャンプーイング&リンシング				
⑳～㉑	理容マッサージ				
㉒～㉓	理容マッサージ				
㉔～㉕	ヘアトリートメント				
㉖～㉗	スカルプトリートメント				
㉘～㉙	ビジネス知識の復習				
㉚～㉛	ビジネス知識の復習				
⑳	面接指導				
～60	復習プリント ワークなどで問題練習				
成績評価	筆記試験 100%				
履修上の注意	無し				
その他					

授業科目名	実習カット1		開講年度	令和6年度	
担当教員	中条 政彦		教員の実務経験の有無	有(4年以上)	
授業科目区分	必修	授業形態	実習	単位数	1単位
対象学年	1学年		開講学期	1学期	
履修条件	特になし				
教科書・教材	カット道具一式				
授業の到達目標					
シザーズの正しい開閉を理解する					
シザーズ開閉速度を上げる					
シザーズとコームの運行に慣れる					
正しい姿勢と立ち位置を理解する					
骨格に対する引き出し方と角度を理解する					
セニングシザーズを使い 刈り上げの反復練習を行い開閉と速度を確実なものにする					
シザーズを使い 刈り上げと直鋏を使うことにより 鋏と櫛を容易に操作できるようになる					
授業概要					
カットの基礎技術を丁寧に学ぶことにより、理美容師としての第一歩をかくじつなものとする。正しい姿勢と開閉を刈り上げを通して学ぶことにより、今後のスタイルカットや国家試験課題に対し適応する技術力を身につける。					
回	授業内容				
	授業内容	到達目標			
①	シザーズの持ち方と開閉の仕方	シザーズの持ち方と開閉を理解する			
②	基本の立ち位置と正しい姿勢	正しいカット姿勢を理解する			
③	開閉練習	連続して開閉ができる			
④	髪を切る感覚を覚える	新聞紙を細かく切る事が出来るようになる			
⑤	基本のブロッキングを覚える	基本のコーミングと鋏を連動させる			
⑥	引き出し角度を覚える	骨格を理解し90度で引き出す			
⑦	ガイドラインに沿って切ることを覚える	7cmのガイドに合わせる事が出来る			
⑧～⑩	縦スライスでのカットを覚える	アンダーセクションの切り方を理解する			
⑪～⑫	胸の前でのカット技法を覚える	ミドルセクションの切り方を理解する			
⑬～⑭	引き上げてのカット技法を覚える	オーバーセクションの切り方を理解する			
⑮～⑯	横スライスでのカット技法を覚える	チェックカットを理解する			
⑰	セニングシザーズを使い連続刈り	セニングシザーズの特性を理解する			
⑱～	シザーズを使い連続刈りでの開閉練習	シザーズで連続刈りが出来るようになる			
	ウィッグ①を使い練習	今までの工程を理解し 出来るようになる			
	ウィッグ②を使い練習	繰り返し今までの工程を理解し出来るようになる			
～⑳	ウィッグ③を使い	繰り返し今までの工程を理解し出来るようになる			
期末試験	セイムレングス～刈り上げまでの工程をテストする				
成績評価	確認テストを行い 点数評価する				
履修上の注意	無し				

授業科目名	実習シャンプー・ブロー			開講年度	令和6年
担当教員	中条 政彦 ・ 金谷 健興 ・ 中濱 美智子			教員の実務経験の有無	有 (4年以上)
授業科目区分	必修	授業形態	実習	単位数	3単位
対象学年	1学年		開講学期	1学期～3学期	
履修条件	特になし				
教科書・教材	理容技術理論1・理容実習				
授業の到達目標					
①基本的な運行順序とブローテクニックを覚える					
②触感技術としての相手に与える快適性を理解する					
③シェービング⇒シャンプー⇒ブローの連動性を覚え 時間を支配し確実性を上げる					
授業概要					
触感技術として大切なシャンプー・マッサージを理解し、サロンワークの根本であるシェービング⇒シャンプー⇒ブローを正確にする。時間を支配し行えるようにすることで、卒業後に即戦力として活躍できスタイリストへの早道となる。					
回	授業内容				
	授業内容			目標	
①～④	ウィッグを使いハンドブローを覚える			ハンドブローで毛髪の乾く感覚を覚える	
⑤～⑧	ウィッグを使いブラシでブローする			デンマンブラシを使い印ブローを覚える	
⑨～⑩	ウィッグを使いプレーンリンスを行う			プレーンリンスの仕方を覚える	
⑪～⑫	シャンプーを塗布しマッサージを行う			手の動かし方と手首の動かし方を覚える	
⑬～	タオルとシャンプークロスを付ける			相モデルでタオルやクロスを的確に装着させる	
	バック(サイド)シャンプーを行う①			手と手首の動かし方が適正か	
	バック(サイド)シャンプーを行う②			ワンシャンプーの運行順序を覚える	
	バック(サイド)シャンプーを行う③			ツーシャンプーの運行順序を覚える	
	バック(サイド)シャンプーを行う④			コンディショナーを塗布しマッサージを行う	
	バック(サイド)シャンプーを行う⑤			髪をブローしセットを行う	
	バック(サイド)シャンプーを行う⑥			シャンプーセットで20分以内を目指す	
⑬～	セットメニュー①			シェービング⇒シャンプー⇒ブローで40分以内を目指す	
～90	セットメニュー②			セットメニューを行いながら洗濯等の雑用をこなす	
期末試験				60点以上で合格	
成績評価	学期末技術テスト並びに確認テストで成績評価をする				
履修上の注意	メモをとる事を必須とする				
その他					

授業科目名	実習シェービング		開講年度	令和6年度
担当教員	中条 政彦 ・ 金谷 健興 ・ 中濱 美智子	教員の実務経験の有無	有 (4年以上)	
授業科目区分	必修	授業形態	実習	単位数 3単位
対象学年	1学年	開講学期	1学期～3学期	
履修条件	特になし			
教科書・教材	理容技術理論 1・2 理容時実習 2			
授業の到達目標				
①基本的なうんこいう順序とハンドリングを覚える				
②触感技術としての相手に与える快適性を理解する・				
③シェービング⇒シャンプー⇒ブローの連動性を覚え、時間を支配し確実性を上げる。				
授業概要				
<p>触感技術として大切なシェービングを理解することは、サロンワークの根本である シェービング⇒シャンプー⇒ブローを正確にする。また 時間を支配することで 卒業後に即戦力として活躍できスタイリストへの早道となる。</p>				
回	授業内容			
	授業内容	目標		
①	正しい姿勢の取り方	重心を安定させ 疲れない体をつくる		
②	レザーの持ち方 シェービングのお仕度	フリー・バック・プッシュハンドが正しく持てる		
③～⑩	てん包法・密着法・清拭法	正しい姿勢順序で無駄なく顔全体を拭き取る		
⑪～⑬	乳液塗布・マッサージ	正しい姿勢・運行順序で行う		
⑭～⑱	クリーム拭き取り	タオルを正確に扱い余分な乳液を拭き取る		
⑲～⑳	ワンスシェービングの運行順序	立体的に運行順序を覚える		
	ワンスシェービング①	フリーハンドの使い方を覚える		
	ワンスシェービング②	バックハンドの使い方を覚える		
	ワンスシェービング③	プッシュハンドの使い方を覚える		
～㉑	ワンスシェービング④	ペンシルハンドの使い方を覚える		
㉒～㉓	ネックシェービングを覚える	ネックシェービングの運行順序・剃り方を覚える		
㉔～	レザーと添え手の関係を理解する	相モデルで実習を行う		
	トワイスシェービングを理解する			
	お仕度から乾燥タオル拭き取りまで 一連の流れでシェービングを行う	損傷させることなくワンスシェービングが行える 損傷させることなくトワイスシェービングが行える		
～90	時間を支配しトワイスシェービングまで行う	全ての工程を20分以内で完結する		
成績評価	学期末実技テストで成績評価をする			
履修上の注意	メモをとる事を必須とする			
その他				

授業科目名	実習パーマ		開講年度	令和6年度
担当教員	中条 政彦 ・ 金谷 健興 ・ 中濱 美智子	教員の実務経験の有無	有 (4年以上)	
授業科目区分	必修	授業形態	実習	単位数 2単位
対象学年	1学年	開講学期	1学期～3学期	
履修条件	特になし			
教科書・教材	理容技術理論1 理容実習1			
授業の到達目標				
①基本的な配列(バックスタイル)を覚え時間内に巻けるようにする				
②異なる配列・サロンスタイルで使われる巻き方を覚え応用力をつける				
③アイロンパーマを覚え理容師独特のパーマスタイルをつくる				
授業概要				
<p>ロッド巻きは 基本的な配列(オールバックスタイル)からレンガ巻き、サロンで使用されているスパイラル・波巻き など様々な巻き方を覚え、実際薬液を使用しかけることにより卒業後の多様なサロンスタイルに対応できるようになる。また、アイロンパーマを覚えることにより理容独自のパーマスタイルに対応できるようになる。</p>				
授業内容				
回	事業内容		目標	
1～6	上巻きを理解する		正しく上巻きができる	
7～12	下巻きを理解する		正しく下巻きができる	
13～18	センターの配列を理解する		センターを30分で巻けるようになる	
19～24	バックサイド・サイドの配列を理解する		全頭を60分で巻けるようになる	
25～30	サイドパート・レンガ巻きをする		配列を変えても正しく巻けるようになる (1本1分⇨50秒⇨40秒⇨30秒⇨20秒)	
31～	全頭30分 繰り返し練習		全頭 30分で巻く (TBBコンペティション)	
	ボリューム・強さの関係を理解する		ステムの角度の違いを理解し輪ゴムのかける位置など正しく覚える	
	スパイラル・ツイストスパイラル・浪巻きを理解する		流行りの巻き方を覚える	
～60	廃棄ウイッグを使いパーマをかけ分ける		カルテを書き想定したカールが出るように工夫する	
期末試験	TBBコンペティションの出来で評価		60点以上で合格	
成績評価	学期末実技テスト並びに確認テストで評価をする			
履修上の注意	メモをとる事を必須とする			
その他				

授業科目名	総合カット（サロンワーク）		開講年度	令和6年度
担当教員	中条 政彦 ・ 金谷 健興 ・ 中濱 美智子	教員の実務経験の有無	有（4年以上）	
授業科目区分	必修	授業形態	実習	単位数 2単位
対象学年	1学年	開講学期	1学期～3学期	
履修条件	特になし			
教科書・教材	理容技術理論1 理容実習1			
授業の到達目標				
①カットの基礎技術の本質を理解する				
②セットの基礎技術の本質を理解する				
授業概要				
カットの基礎を理解し ロングスタイルの取り扱いを行う事が出来るようにする。				
セットの基本を理解し インブローで左右の手が同じ動きが出来るようにする。				
授業内容				
回	授業内容		目標	
①～⑤	ブローの基礎		熱と風の当て方 テンションの理解をする インブローを理解する	
⑥～⑩	セიმレングスの復習 外部講師によるカット講習を受ける		ブロッキングの基礎とオンベースカットができる ブロッキングの基礎と一線にそろえたカットができる	
⑩～⑬	ワンレングスのカット		インブローを理解する	
⑭	ワンレングスカットのブロー仕上げ			
⑮～⑱	カット・ブローの復習		縦スライスのパネルの引き出し角度を理解する	
⑲～⑳	グラデーションカット		インブローを理解する	
㉑	グラデーションカットのブロー仕上げ			
㉒～㉔	カット・ブローの復習		60点以上で合格	
期末試験㉕～㉖	グラデーションカットで実技試験		横スライスで引き出しカットする事を理解する	
㉗～	メンズグラデーションカット		ツープロックを合わせたメンズカットと ブローの理解	
	メンズグラデーションカットのブロー			
～60	メンズカット⇒波巻き		サロンスタイルのパーマを仕上げる	
成績評価	期末試験にて評価する			
履修上の注意	無し			
その他				

授業科目名	理容技術理論 2		開講年度	令和6年度
担当教員	金谷 健興・ 中条 政彦 ・ 中濱 美智子		教員の実務経験の有無	有 (4年以上)
授業科目区分	必修	授業形態	講義	単位数 2単位
対象学年	2学年		開講学期	1学期・3学期
履修条件	特になし			
教科書・教材	教科書			
授業の到達目標				
<p>理容の基礎技術を知ることにより、カット・シェービング・シャンプーなどの実習がより 分 かりやすくなる。ミディアムカットの基本的な刈り方を理解し国家試験に対応する。 カ ラーリングをはじめ応用技術を知ることにより、サロンに即応した知識を習得する。</p>				
授業概要				
<p>理容理論を学ぶことは、実習だけで「できる」ようになることはなく、そこには「わかる」とい う事が必要です。理論で分かり、実習で出来る。これが理容師になる一番の早道です。カット・ シャンプー・シェービングなどの基本技術はこれからのステップアップにとっても必要な事であり、 基本技術が出来るからこそ応用も出来るようになります。将来は自分で考え、工夫し、レベルを より高める事が出来るのは、全て基本技術が身に付くことが条件になります。</p>				
回	授業内容			
①②	シェービング			
③④	シェービング			
⑤⑥	シェービング(レディースシェービング)			
⑦⑧	理容エステティック			
⑨⑩	理容エステティック			
⑪⑫	理容クリニック			
⑬⑭	理容クリニック			
⑮⑯	シャンプーイング&リンシング			
⑰⑱	シャンプーイング&リンシング			
⑲⑳	理容マッサージ			
㉑㉒	理容マッサージ			
㉓㉔	ヘアトリートメント			
㉕㉖	ヘアトリートメント			
㉗㉘	スカルプトリートメント			
㉙㉚	復習			
成績評価	定期テストで60点以上			
履修上の注意	復習する事が望ましい			
その他				

授業科目名	理容総合技術(来客実習)		開講年度	令和6年度
担当教員	金谷 健興 ・ 中条 政彦 ・ 中濱 美智子	教員の実務経験の有無		有(4年以上)
授業科目区分	必修	授業形態	実習	単位数
対象学年	2学年		開講学期	2学期
履修条件	特になし			
教科書・教材	理容道具一式			
授業の到達目標				
①お客様が満足するシャンプー・セットが行える				
②お客様が満足するシェービングが行える				
③お客様が満足するカッティングが行える				
④オプションメニューに答えられるよう努力する。				
授業概要				
<p>外部よりお客様を招待し、カウンセリングからお見送りまで、サロンワークで行う全ての事を行う授業。一般のお客様を施術することにより、集中力と技術力が一段と高まる。</p> <p>就職しモデルカットをお行う際に不安なく施術を行えスタイリストデビューへの早道となる。卒業後1年以内のスタイリストデビューを目指し目標とする。</p>				
授業内容				
回	授業内容		目標	
①～	モデル確保の方法を覚える		毎時間のモデルを確保する	
	開店準備を行う		掃除、整頓、作業面の準備物等、時間の使い方を学ぶ	
	お客様お出迎え			
	カウンセリング		お客様の悩み、皮膚トラブル等細やかに聞き取る	
	カッティング		作業時間 30分	
	シェービング		作業時間 20分	
	シャンプーイング(スパシャンプー)		作業時間 20分	
	セッティング		作業時間 10分	
	お客様アンケート		お客様の正直な気持ちと満足度	
	お客様 お見送り		感謝を込めてお見送り	
	閉店作業を行う		掃除、片付け、洗濯等時間の使い方を学ぶ	
	反省会			
～③⑩	オプションメニュー		カラー・パーマの施術	
成績評価	毎時間ごとに確認テストで成績評価をする			
履修上の注意	メモをとる事を必須とする			
その他	放課後、自主練習を行い習熟度を上げる			

授業科目名	理容総合技術(サロンワーク)		開講年度	令和6年度
担当教員	金谷 健興 ・ 中条 政彦 ・ 中濱 美智子	教員の実務経験の有無		有 (4年以上)
授業科目区分	必修	授業形態	実習	単位数
対象学年	2学年		開講学期	2学期
履修条件	特になし			
教科書・教材	理容道具一式			
授業の到達目標				
①基本の立ち位置の理解				
②正確なブロッキングの理解				
③ワンレングスの理解と実践(レディース)⇒ドライヤーセット				
④グラデーションボブの理解と実践(レディース)⇒ドライヤーセット				
⑤ショートグラデーションによるパーマスタイル(波巻き)の理解と実践				
授業概要				
1年生で培った基礎技術の習熟度を上げるため、現役のスタイリストから2パターンのカットスタイルとパーマを学ぶ。				
ウィッグに対しての立ち位置・姿勢・ブロッキングの基本から サロンワークですぐに 役立つ実践的なカット・ブロー・セット・パーマを習熟度別で学んで行く。				
回	授業内容			
①	基本の立ち位置とブロッキング・マーキング			
②～④	ワンレングスカット ワンレングススタイル⇒ドライヤーセット			
⑤～⑧	ワンレングスカット復習			
⑨～⑫	グラデーション カット(縦グラデーション)			
⑬～⑯	グラデーション ⇒ ドライヤーセット			
⑰～⑲	グラデーションカット復習			
⑲～⑲	グラデーションカット(縦グラデーション) グラデーションカット ⇒ ドライヤーセット			
⑲～⑲	グラデーションカット復習			
⑲～⑲	グラデーションカット テスト ブローテスト			
⑲～⑲	ショートグラデーションカット (横グラデーション) ショートグラデーション⇒パーマ (波巻き)			
成績評価	各スタイル毎の仕上がりで成績評価をする			
履修上の注意	メモをとる事を必須とする			
その他	自主練習を行い習熟度を上げる			

授業科目名	理容総合技術理容応用技術		開講年度	令和6年度
担当教員	金谷 健興 ・ 中条 政彦 ・ 中濱 美智子	教員の実務経験の有無		有 (4年以上)
授業科目区分	必修	授業形態	実習	単位数 7単位
対象学年	2学年		開講学期	1学期～3学期
履修条件	特になし			
教科書・教材	理容道具一式			
授業の到達目標				
①メンズフリースタイル 流行を取り入れたストリートスタイル(デフォルメしたコンペ作品を作る)				
②レディースフリースタイル カラーの効果を活かした作品を作る				
③バーバースタイル アイロンパーマを使ったオリジナルスタイルを作る				
④ 国家試験のシュミレーションを覚える				
授業概要				
理容基礎で培った技術を用い、創作作品を付く英上げることにより創作力を養いより高度な 目標を掲げられる。TBBコンペの課題であるBARBER SUTYLEを創り上げることにより、クリッパーワーク・シザーワーク・パーマテクニック・カラーテクニックが融合されたアーティスティックな感覚を具現化する。				
回	授業内容			
回	授業内容	目標		
1～	メンズフリースタイルの制作	カラー・パーマのテクニックを取り入れオリジナルのスタイル仕上げる		
	レディーススタイルの制作	カラー・パーマのテクニックを取り入れオリジナルのスタイル仕上げる		
	バーバースタイルの制作	カラー・パーマ・アイロンパーマのテクニックを取り入れTBB コンペ オリジナル作品を仕上げる		
	TBBコンペティション	時間内に刈り上げ・セットを行う カット30分ドライヤーセット30分計60分		
～210	国家試験のシュミレーション	シュミレーションを行い合格を目指す		
成績評価	学期末技術テスト並びに確認テストで成績評価をする			
履修上の注意	メモを取る事を必須とする			
その他				

授業科目名	理容実習シャンプー		開講年度	令和6年度
担当教員	金谷 健興 ・ 中条 政彦 ・ 中濱 美智子	教員の実務経験の有無		有（4年以上）
授業科目区分	必須	授業形態	実習	単位数 2単位
対象学年	2学年		開講学期	1学期～2学期
履修条件	特になし			
教科書・教材	理容道具一式			
授業の到達目標				
①シャンプーの基本的な運行順序とブローテクニックを覚える				
②触感技術としての相手に与える快適性を理解する				
③シェービング⇒シャンプー⇒ブローの連動性を覚え、時間を支配し確実性を上げる				
授業概要				
<p>触感技術として大切なシャンプー・マッサージ・を理解し、サロンワークの根本であるシェービング⇒シャンプー⇒ブローを正確にする。また、時間を支配し行えるようにすることで、卒業後に戦力として活躍でき、スタイリストへの早道となる。</p>				
授業内容				
回	授業内容		目標	
1～	リアシャンプー		リアシャンプーのシステムを覚える	
	スタンドシャンプー		スタンドシャンプーのシステムを覚える	
	セットメニュー		シェービング⇒シャンプー⇒ブロー 40分以内を目指す	
～60	セットメニュー		セットメニューを行いながら片付け洗濯等の雑用をこなす	
成績評価	学期末実技テスト並びに確認テストで成績評価する			
履修上の注意	メモをとる事を必須とする			
その他				

授業科目名	理容実習トータルシェービング		開講年度	令和6年度	
担当教員	金谷 健興 ・ 中条 政彦 ・ 中濱 美智子		教員の実務経験の有無	有 (4年以上)	
授業科目区分	必修	授業形態	実習	単位数	4単位
対象学年	2学年		開講学期	1学期～2学期	
履修条件	特になし				
教科書・教材	理容用具一式				
授業の到達目標					
①レディースシェービング特有のプロセスとハンドリングを覚える					
②フェイシャルマッサージを覚え、肌のケアを理解する					
③来客実習や美容科女子生徒の施術を行い実力をつける					
授業概要					
トータルシェービングとは、レディースシェービングにより生え際・眉の作り方・耳・鼻・襟足の剃り方を学び スチーミングやマッサージ方法で女性のお客様の前処置・後処置を学び 肌のケアを目的としたシェービングを体験する。これを覚えることにより、より実践力が高められ就職後即戦力となる。					
授業内容					
回	授業内容		目標		
1～	レディースシェービングの目的 カウンセリング・お仕度をする		2種類のレディースシェービングを理解する		
	女性の襟を剃る		肌タイプ・男女の肌の違いを理解する		
	女性の額を剃る		日本伝統の三つ襟を作る		
	女性のもみあげ・鼻・耳を剃る		自然な富士額を作る		
	女性の眉を作る		女性の顔 眉の黄金比を理解する		
	お湯での2回剃りをする		対皮角度・対皮圧力・刃の速度を理解する		
	事後処置		スチーミング・オイルマッサージ ・パック・乳液・パウダー仕上げ		
			総合技術を理解する		
	トータルシェービング⇒リアシャンプー⇒ブロー		レディースシェービング・マッサージ45分⇒シャンプー・ブロー30分		
～90	準備・片付けまでの工程		サロン業務を理解する		
成績評価	学期末実技テスト並びに確認テストで成績を評価する				
履修上の注意	メモをとる事を必須とする				
その他					

授業科目名	理容実習カット(国家試験課題)		開講年度	令和6年度
担当教員	金谷 健興 ・ 中条 政彦 ・ 中濱 美智子	教員の実務経験の有無		有(4年以上)
授業科目区分	必須	授業形態	実習	単位数
				10単位
対象学年	2学年		開講学期	1学期～3学期
履修条件	特になし			
教科書・教材	理容用具一式			
授業の到達目標				
①ベーシックカット(ミディアムカット・ハーフロング・スクエアカット・ブロースカット)				
②デザインカット(ブランドカット・チョップカット・セニングカット等)を用いてメンズスタイルを理解する				
③人間モデルのカットが出来るようになる				
④国家試験で高い完成度で合格し、卒業後1年以内でのスタイリスト昇格を目指す				
授業概要				
国家試験課題を奥深く学ぶことにより、国家試験合格を確実なものにする。理容のベーシックカットを幅広く学ぶことにより、技術力が向上したようなスタイルの提案ができるデザイン力の向上を図り、多様な応用力をもった理容師に育て上げる。				
回	授業内容			
	授業内容	目標		
1～	髪の正しい持ち方	開閉の正確性を目指す		
	正しい姿勢	正しい姿勢で疲れにくい体をつくる		
	指間刈りを覚える	スクエアカットができる		
	すくい刈りを覚える	すくい刈りでカットできる		
	連続刈りを覚える	連続刈りでカットができる		
	固定刈りを覚える	固定刈りでカットできる		
	固定刈り・連続刈り・すくい刈りの一連の動作を覚える	一体となった形でカットできる		
	ベーシックカットを理解する	ミディアム・ハーフロング・ブロースをカットできる		
	ヘアセットを理解する	ボンバージュセットができる		
	デザインカットを理解する	マテリアルカット等の特殊なカット技法ができる		
	セニングカットを理解する	毛量調整・質感調整ができる		
	フリースタイルに挑戦する	自分自身でデザインし作成する		
	TBBコンペティションに挑戦する	BARBER STYLEを作成する		
～300	国家試験課題を理解する	ミディアムカットを作成する		
期末試験				
成績評価	学期末実技テスト並びに確認テストで成績評価をする			
履修上の注意	メモをとる事を必須とする			
その他				

授業科目名	美容一般（エステ）			開講年度	令和6年度
担当教員	安藤貴子		教員の実務経験の有無		有（4年以上）
授業科目区分	必修	授業形態	実習	単位数	1単位
対象学年	1学年		開講学期	1学期	
授業の到達目標					
<p>エステの基礎技術の習得を通して、人に触れることに慣れ、気配り、心遣いを身につける。道具や自身の衛生に気をつける。技術時の体の使い方に気を付ける。両手同時に動かすことができるよう努める。</p>					
授業概要					
<p>エステティックに関する基礎知識、技術を学び、習得を通して人に触れること、人に対する心配り、気遣いなどを身につける。また、肌に直接触れる手指や道具を清潔に保ち、衛生に対する意識を習慣化する。技術を通して、負担なく作業するための姿勢を身につける。技術によっては利き手だけではなく、両手が同じ動きができるようにトレーニングする。</p>					
授業内容					
回	授業内容				
①	エステティック概論、皮膚の生理と構造について知る				
②	カウンセリング、マッサージ理論、衛生と消毒について知る				
③	ポイントクレンジングから拭き取りまでの手順を知る				
④	マッサージの手順を知る				
⑤	ポイントクレンジングからマスク拭き取り、仕上げまでを知る				
⑥	ポイントクレンジングから仕上げまで相モデルで行うことができるかチェックをする				
⑦	エステ道具の準備の仕方、注意点、消毒の仕方、モデルの準備を知る				
⑧⑨	モデルに配慮しながらポイントクレンジングから仕上げまで行う				
⑩⑪	準備から仕上げまで全体を通して行い、モデルへの配慮と時間を意識して行う				
⑫⑬	準備から仕上げまで全体を通して行い、時間内に全ての工程を行う				
⑭⑮	実技試験				
成績評価	<p>実技試験にて評価する。技術の習得、モデルへの心配り、気遣い、衛生面への意識ができていないかを確認する。追試、再試は授業外の時間（放課後もしくは補講期間）にて行う。</p>				
履修上の注意	<p>髪の毛が顔にかかる人は、かからないようにする。爪を短くする。</p>				
その他	<p>特になし</p>				

授業科目名	総合ビジネス			開講年度	令和6年度
担当教員	安藤貴子		教員の実務経験の有無		有(4年以上)
授業科目区分	必修	授業形態	講義	単位数	1単位
対象学年	1学年		開講学期	1学期	
履修条件	特になし				
教科書・教材	ビジネステキスト				
授業の到達目標					
接客マナーの基本を知り、おもてなしの言動が振る舞えるように意識する。就職ガイダンスに向けて準備をして、ガイダンスの時には就職活動を視野に入れた行動ができるようにする。					
授業概要					
どの業界にも求められているコミュニケーションについて考え、接客マナーの基礎を知り、接客業において重要なホスピタリティマインドの言動が振る舞えるように知識を学ぶ。また、就職ガイダンスでの時間を有意義な時間にするための準備を行う。就職ガイダンスでは、いろいろなサロンの話を聞き就職活動で活かせるように学ぶ。					
回	授業内容				
①	コミュニケーションについて学ぶ				
②	笑顔、あいさつ、身だしなみなどの第一印象の大切さを知る				
③④	敬語、接客時の言葉遣いを知る				
⑤	接客時の感じのよい話し方を知る				
⑥	サービスマナーの基本姿勢と動作を知る				
⑦	電話対応の基本を知る				
⑧⑨	業界について学び、就職ガイダンス参加のサロン調べをする				
⑩	就職ガイダンス				
⑪	就職ガイダンス				
⑫	就職ガイダンス				
⑬⑭	まとめ				
⑮	復習				

授業科目名	選択エステティックⅠ			開講年度	令和6年度
担当教員	安藤貴子		教員の実務経験の有無		有(4年以上)
授業科目区分	選択	授業形態	実技	単位数	4単位
対象学年	1学年		開講学期	2学期	
履修条件	ボディトリートメントは、全身の施術のため、女子のみとする				
教科書・教材	エステティックテキスト、エステティック教材一式、エタノール、コットンケース、クリアファイル(40ポケット)				
授業の到達目標					
エステティックに関する基礎的な知識を理解し、フェイシャル、ボディ技術の目的、手法、効果、手技を知り、適切に行う方法を身につける。また、使用機器を知り、安全に操作する。					
授業概要					
エステティックに関する基礎的な知識を習得する。フェイシャル技術の基本的な流れや一つ一つの目的、手法、効果について理解する。ボディトリートメントを行う上で知っておくべきそれぞれのトリートメントの目的、手法、効果、手技の違いやポイントについて習得する。また、身体を上手く使い快適なマッサージが提供できるようにトレーニングする。					
回	授業内容				
①②	エステティックとは何か(概論) フェイシャルエステティックの目的、効果、具体的な内容を知る				
③④	ボディマッサージの各手技の目的、手法、作用、身体の特徴を知り、分析方法を学ぶ				
⑤	理論まとめ 筆記試験				
⑥	実習室の使用、相モデルに対する注意点を知る				
⑦⑧	フェイシャル: クレンジング～拭き取りまでの手順を行い、覚える				
⑨⑩	ボディ: マッサージ(後面下肢)の手法を理解しながら行う				
⑪⑫	フェイシャル: クレンジング～拭き取り～スチームタオルまでの手順を行い、覚える				
⑬⑭	ボディ: マッサージ(腰背部)の手法を理解しながら行う				
⑮⑯	フェイシャル: マッサージ(デコルテ～フェイス)までの手順を行う				
⑰⑱	ボディ: マッサージ(後面下肢～腰背部)の手順を覚える				
⑲⑳	フェイシャル: クレンジング～マッサージまで覚えているかチェックする				
㉑㉒	ボディ: マッサージ(前面下肢)の手法を理解しながら行う				
㉓㉔	ボディ: 実技試験				
成績評価	筆記試験50%、実技試験50%にて評価する。筆記試験はフェイシャル、ボディの基本が理解できているかをはかる。実技試験は、技術の習得、モデルへの心配り、気遣い、衛生面への意識ができていないかを確認する。				
履修上の注意	髪の毛が顔にかかる人は、かからないようにする。爪を短くする。				
その他	特になし				

授業科目名	サロンワークⅠ(カッター・カラー)		開講年度	令和6年度
担当教員	中濱 美智子・佐藤 美咲・今井 美里	教員の実務経験の有無		有(4年以上)
授業科目区分	選択	授業形態	実習	単位数 4単位
対象学年	1学年	開講学期		2学期
履修条件	なし			
教科書・教材	実習道具一式			
授業の到達目標				
各技術における正しい道具の扱い、姿勢、立ち位置など、基礎的な技術を習得する。カラーでは、シングルスター検定の合格を目指す。また、サロンワークに通ずる心構えや挨拶、環境設定、気配りを身につけ、実践できるようになることを目標とする。				
授業概要				
各技術の基礎理解を深め、正しい道具の取り扱いや姿勢ができるようになる。授業は習熟度別に行う。カットではセიმレングスの復習を行い、オンベースの理解を深める。カラーではシングルスター検定を通してカラー技術の基礎を学び、合格を目指す。ブローではインブローの習熟を図り、正しいブラシワークを身に着ける。				
回	授業内容			
①	カット：道具の扱い方、姿勢、立ち位置の復習			
②～④	カット：セიმレングス 坊主ウィッグ練習(ペーパー)			
⑤～⑧	カット：セიმレングス ウィッグ練習(ヘア) ブロー：インブロー			
⑨～⑮	カット：セიმレングス 習熟度チェック ブロー：インブロー 習熟度チェック			
⑯～⑳	カット：A…グラデーションボブ 坊主ウィッグ練習(ペーパー) B…セიმレングス習熟 ブロー：インブロー			
㉑㉒	カット：A…グラデーションボブ ウィッグ練習(ヘア) B…セიმレングス習熟 習熟度チェック ブロー：インブロー 習熟度チェック			
㉓～㉕	カット：A…グラデーションカット 習熟度チェック B…セიმレングス 習熟度チェック ブロー：インブロー			
㉖～㉗	カット：コームワーク・シザーワークトレーニング A…グラデーションカット 習熟度チェック B…セიმレングス 習熟度チェック カラー：シングルスター検定対策(ワンメイク・ブリーチワーク・0テク・座学) シングルスター検定受験(実技・筆記) ブロー：インブロー			

成績評価	授業中における技術の習熟度（60点）、サロンワークを想定した授業態度（20点）、実技テスト（20点）を総合して評価
履修上の注意	ノートを持参する。習熟度により、練習用ウィッグの別途購入や、授業時間外で補講を行う場合あり。
その他	各実習道具一式

授業科目名	サロンワークⅠ(シャンプー)		開講年度	令和6年度
担当教員	中濱 美智子・佐藤 美咲・今井 美里	教員の実務経験の有無	有(4年以上)	
授業科目区分	選択	授業形態	実習	単位数
				4単位
対象学年	1学年	開講学期	2学期	
履修条件	なし			
教科書・教材	シャンプー・ブロー道具一式			
授業の到達目標				
サイドシャンプーの基礎の理解を深める。正しい姿勢や手の動きを理解し、サロンワークで即戦力となる技術の習得を目指す。				
授業概要				
相モデルを中心にサイドシャンプーの基本的技術の習熟を図る。サロンワークに通ずる心構えや挨拶、接客用語を理解し、実践力を身に着ける。				
回	授業内容			
①	シャンプー：セッティング・姿勢・接客用語・サイドシャンプー工程復習 ブロー：ハンドブロー復習			
②～⑤	シャンプー：サイドシャンプー 習熟度チェック ブロー：ハンドブロー 習熟度チェック インブロー練習			
⑥～	シャンプー：サイドシャンプー 習熟度チェック ブロー：ハンドブロー・インブロー 習熟度チェック			
成績評価	授業中における技術の習熟度(60点)、サロンワークを想定した授業態度(20点)、実技テスト(20点)を総合して評価			
履修上の注意	ノートを持参する。			
その他				

授業科目名	サロンワークII(カット・カラー)		開講年度	令和6年度
担当教員	中濱 美智子・佐藤 美咲・今井 美里	教員の実務経験の有無		有(4年以上)
授業科目区分	選択	授業形態	実習	単位数 2単位
対象学年	1学年	開講学期		3学期
履修条件	なし			
教科書・教材	実習道具一式			
授業の到達目標				
各技術における基礎的な技術を身につけ、正しい立ち位置、道具の扱いの理解を深め、技術の定着を目指す。技術の習得が認められたものは、TBBコンペティションサロンワーク競技に出場する。				
授業概要				
各技術の基礎の反復練習を行い、正確な道具の取り扱い、正しい姿勢ができるようになる。授業は習熟度別に行う。セიმレングスの習熟が認められた者はグラデーションボブを学ぶ。カラーでは応用技術としてホイルワークを学び、サロンワークに活かせるデザインカラーの技術を身につける。ブローではインブローの習熟を図り、正しくブラシワークを行う。TBBコンペティションでは習得した技術を総合し、作品作りに取り組む。				
回	授業内容			
①②	カット：A…グラデーションボブ復習 B…セიმレングス復習(見極め・ランク分け) ブロー：インブロー			
③～⑫	カット：A…グラデーションボブ復習 B…セიმレングス習熟 ブロー：インブロー カラー：A…ワンメイク復習・ホイルワーク B…ワンメイク復習			
⑬～	A…TBBコンペ作品制作 B…カット：グラデーションボブ ブロー：インブロー			
成績評価	授業中における技術の習熟度(60点)、サロンワークを想定した授業態度(20点)、実技テスト(20点)を総合して評価			
履修上の注意	ノートを持参する。習熟度により、練習用ウィッグの別途購入や、授業時間外で補講を行う場合あり。			
その他	各実習道具一式			

授業科目名	美容一般（スタイリング）			開講年度	令和6年度
担当教員	佐藤 美咲		教員の実務経験の有無	有(4年以上)	
授業科目区分	必修	授業形態	実習	単位数	1単位
対象学年	1学年		開講学期	1学期	
履修条件	特になし				
教科書・教材	美容理論Ⅰ、美容実習Ⅰ、スタイリング道具一式				
授業の到達目標					
①スタイリングに必要な基礎技術ができる					
②夜会巻きをつくることができる					
授業概要					
スタイリングの基礎技術の修得					
評価基準・評価方法					
基礎技術を用い夜会巻きをつくることができる					
回	授業内容				
①	ホットカーラー	アップスタイルの知識について知る、ホットカーラーを巻いてみる			
②	ホットカーラー、一束	ポイントの位置に向かって巻いてみる、一束について知る			
③	ホットカーラー、一束				
④	ホットカーラー、一束	ポイントの位置に向かって巻いてみる、一束について知る			
⑤	一束、ブレード	一束、ブレードについて実施する			
⑥	スタイル04 展示、作成	スタイル04を実施する			
⑦	スタイル04 全頭	スタイル04全頭を仕上げる			
⑧	スタイル04 全頭	スタイル04全頭を時間以内に仕上げる			
⑨	すき毛の作り方、ピン打ち	すき毛の作り方、ピン打ちを実践する			
⑩	スタイル05 展示、作成（バック）	スタイル05を実践する			
⑪	スタイル05 展示、作成（サイド、フロント）	スタイル05を実践する			
⑫	スタイル05 全頭	スタイル05を実践する			
⑬	スタイル05 全頭	スタイル05全頭を仕上げる			
⑭	スタイル05 全頭	スタイル05全頭を仕上げる			
⑮	テスト	スタイル05時間内に仕上げる			
成績評価	期末試験成績にて評価する				
履修上の注意	なし				
その他	なし				

授業科目名+B2:J27	選択スタイリング		開講年度	令和6年度
担当教員	佐藤 美咲	教員の実務経験の有無		有(4年以上)
授業科目区分	選択	授業形態	実習	単位数 1単位
対象学年	1学年	開講学期		2学期
履修条件	特になし			
教科書・教材	スタイリング道具一式、テキスト			
授業の到達目標				
ホットカーラー、アイロンを正しく使用し、様々なアップスタイルを作ることができるように				
授業概要				
アップスタイルについて基礎の復習、課題のスタイルの作成				
回	授業内容			
①	ホットカーラー復習			
②	ストレートアイロン、カールアイロンの使い方を知る			
③	ストレートアイロン、カールアイロンの使い方復習			
④	スタイル1の作り方を知る			
⑤	スタイル1を実践する			
⑥	スタイル2の作り方を知る			
⑦	スタイル2を実践する			
⑧	スタイル2の確認テスト			
⑨	スタイル3の作り方を知る			
⑩	スタイル3を実践する			
⑪	スタイル3の確認テスト			
⑫	ブレイドを入れたアップスタイル自由作品提出			
⑬	ブレイドを入れたアップスタイル自由作品提出			
⑭	ブレイドを入れたアップスタイル自由作品相モデル			
⑮	ブレイドを入れたアップスタイル自由作品相モデル			
成績評価	ウィッグでの各テストの総合評価とする			
履修上の注意	自由作品のデザインは宿題で考えてくる			
その他	カールアイロン(26mm前後)、ストレートアイロンが必要。 持っていない場合は各自購入。自由作品に必要な飾りやゴムなどの消耗品は各自購入。			

授業科目名	美容一般カラー		開講年度	令和6年度
担当教員	佐藤	教員の実務経験の有無		有（4年以上）
授業科目区分	必修	授業形態	実習	単位数 1単位
対象学年	1学年	開講学期		1学期
履修条件	特になし			
教科書・教材	新ヘアカラー入門、カラー道具一式、トレーニングクリーム（2回目のみカット道具）			
授業の到達目標				
ワンメイク塗布の習得				
授業概要				
カラー技術の理解、ウィッグで基本的なワンメイクの塗布の仕方を習得する。				
回	授業内容			
①	テーブルセッティング、諸説明			
②	ウィッグ制作（ワンメイク）、道具の使い方			
③	カラー技術の説明、ワンメイク中間毛先の塗布			
④	ワンメイク中間毛先の塗布			
⑤	〃			
⑥	ワンメイク根元			
⑦	〃 クロスチェック			
⑧	〃			
⑨	中間毛先、根元塗布復習			
⑩	中間毛先、根元塗布、クロスチェック確認テスト（ブリーチ）			
⑪	中間毛先、根元塗布、クロスチェック			
⑫	〃			
⑬	ワンメイク全頭			
⑭	〃 テスト			
⑮	〃 再試			
成績評価	ウィッグにて段階的に審査			
履修上の注意	特になし			
その他				

授業科目名	基礎実習Ⅰ ワインディング			開講年度	令和6年度
担当教員	野本 七沢 上野		教員の実務経験の有無	有 (4年以上)	
授業科目区分	必須	授業形態	実習	単位数	2単位
対象学年	1学年		開講学期	1学期	
履修条件	特になし				
教科書・教材	美容理論Ⅰ・衛生セット・ワインディング道具一式				
授業の到達目標					
<p>ワインディングの基礎を理解し、オールパーパスを全頭を時間内に巻ける</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コームの扱い方を理解する(持ち方、回転の仕方) ・ 立ち位置、姿勢を理解する ・ ロッドの納まり方(オンベース)を理解する ・ 1本20秒以内で巻ける ・ 頭の丸みが理解できる 					
授業概要					
<p>オールパーパス (1本20秒以内)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ロッドがオンベースに納まっている ・ ロッドとロッドの隙間がない 					
回	授業内容				
①②	ウィッグの取り扱い ブロッキング (センター2本)				
③④	ブロッキング (センターのみ) ワインディング上巻き				
⑤⑥	ワインディング上巻き				
⑦⑧	ワインディング下巻き (センター)				
⑨⑩	センター・バックサイド				
⑪⑫	ブロッキング5 ブロック5分 全頭30分以内				
⑬⑭	ブロッキング5 ブロック5分 全頭30分以内				
⑮⑯	ブロッキング5 ブロック5分 全頭20分以内				
⑰⑱	ブロッキング5 ブロック5分 全頭20分以内				
⑲⑳	ブロッキング5 ブロック3分 全頭20分以内 (早い人は18分)				
㉑㉒	ブロッキング5 ブロック3分 全頭20分以内 (早い人は18分)				
㉓㉔	ワインディング合格者 パーマ用ワインディング 不合格者 ブロッキング3分 全頭20分				
㉕㉖	パーマ用ワインディング オールパーパスのレベルアップ 不合格者 ブロッキング3分 全頭20分				
㉗	パーマ用ワインディング オールパーパスのレベルアップ 不合格者 ブロッキング3分 全頭20分				
㉘㉙ ㉚	TBBコンペティション パーマ用ワインディングウィッグに薬液塗布				
成績評価	20分全頭を基準通り巻く60点以上・不合格の場合は、課題や補習を行い合格とする				
履修上の注意	日頃から道具の整理整頓をしっかりとこなうこと。実習にふさわしい服装、髪型であること。また、道具を使用するため、爪の長さは基準以内にする。自主的にトレーニングを行いましょう。				
その他	ノート、筆記用具を持参すること				

授業科目名	基礎実習Ⅱ（ワインディング・オールウエーブ）		開講年度	令和6年度
担当教員	野本 七沢 大場 今井 佐藤		教員の実務経験の有無	有（4年以上）
授業科目区分	必修	授業形態	実習	単位数 3単位
対象学年	1学年		開講学期	2学期
履修条件	特になし			
教科書・教材	美容理論Ⅰ、ワインディング道具一式、オールウエーブ道具一式			
到達目標				
<p>国家試験課題ワインディングの構成と採点項目を理解し、適切なコームの扱い方や作業姿勢で技術動作が早くできるようになる。ステムの角度によってどのように仕上がりのボリュームが変化するかを理解できる。</p> <p>オールウエーブでは、立ち位置、コームの持ち方、動かし方を習熟しフィンガーウエーブと基本的なカールが作れる。（スカルプチュアカール クロッキノールカール）</p>				
授業概要				
<p>コームの使い方、立ち位置を意識し、国家試験ワインディングの構成と採点項目を理解する。</p> <p>オールウエーブでは、フィンガーウエーブを中心にコームの持ち方、動かし方を習熟し、技術を身に付ける。</p>				
評価基準・評価方法				
<p>ワインディングの課題は100点満点で60点以上を合格とする。採点項目は国試採点基準に準ずる。（タイム以外）本試、追試終了後、不合格者は補習を必ず受講し再試を受けること。オールウエーブは確認テストとし、結果により補習を行う。</p>				
回	授業内容			
①②	ウィッグパーマ			
③④	ブロッキング（国家試験巻き）			
⑤～⑩	<p>ワインディング（国家試験巻き）</p> <p>構成を理解する（ブロッキング9ブロックの取り方） （オンベース、1/2オフベースのブロック）</p> <p>ステムの角度が理解できる（オンベース、1/2オフベース）</p> <p>左右対称に概ねできる</p> <p>全頭が規定の時間で巻ける（習熟度ランク別）</p>			
①②	オールウエーブ用ウィッグ作り			
③④	フィンガーウエーブ（コームの動かし方 リッジの出し方）			
⑤⑥	カールの作成（スカルプチュアカール クロッキノールカール）			
⑦～⑮	オールウエーブ7段構成（フィンガーウエーブとカール）			
成績評価	100点満点で60点以上を合格とする。国試課題で全頭仕上げる。技術時間は習熟別で異なる。追試、再試が設けられる。			
履修上の注意	日頃から道具の整理整頓をしっかりとこなうこと。実習にふさわしい服装、髪型であること。また、道具を使用するため、爪の長さは基準以内にする。習熟別授業になるため、自主的にトレーニングを行いましょう。			
その他	ノート、筆記用具持参すること。			

授業科目名	基礎実習Ⅲ（ワインディング・オールウエーブ）		開講年度	令和6年度
担当教員	野本 七沢 大場 今井 佐藤		教員の実務経験の有無	有（4年以上）
授業科目区分	必修	授業形態	実習	単位数 2単位
対象学年	1学年		開講学期	3学期
履修条件	特になし			
教科書・教材	美容理論Ⅰ、ワインディング道具一式、オールウエーブ道具一式			
到達目標				
<p>各課題共に基本的な作業姿勢やコームの使い方がスムーズにできるようになる。</p> <p>ワインディングは、国家試験ワインディングの構成を重点に採点項目を理解し、より正確にスピードアップができるようになる。</p> <p>オールウエーブでは、7段構成を理解し、フィンガーウエーブがバランスよく作れる。また、スカルプチュアカールやクロッキノールカールの特徴を理解しカールが作成できる。</p>				
授業概要				
<p>ワインディングは、国家試験ワインディングの構成と採点項目を意識しながら習熟度をあげてタイムアップをする。</p> <p>オールウエーブでは、コームの持ち方、動かし方を確認しながら、1段目にスカルプチュアカール、2～6段目までをフィンガーウエーブ、7段目がクロッキノールカールの7段構成を作る。</p>				
評価基準・評価方法				
<p>各課題合わせて100点満点で60点以上を合格とする。採点項目は国試に準ずる。 （オールウエーブ7割 ワインディング3割とする）</p> <p>各課題の本試、追試終了後時点で技術未熟者は補習を必ず受講し再試を受けること。</p>				
回	授業内容			
①～⑮	<p>ワインディング（国家試験巻き）</p> <p>規定の場所でのステムの角度が理解できる</p> <p>左右対称に概ねできる（サイド、バックの左右の高さ）</p> <p>全頭が規定の時間で巻ける（習熟度ランク別）</p>			
①～⑮	<p>オールウエーブ7段構成（フィンガーウエーブとカール）</p> <p>リッジ、ウエーブがそれぞれつながるように作成する</p> <p>カールと特徴を理解して作成できる（スカルプチュアカール クロッキノールカール）</p>			
成績評価	<p>100点満点で60点以上を合格とする。国試課題で全頭仕上げる。技術時間は習熟別で異なる。追試、再試が設けられる。（ただし、オールウエーブ課題の3～6段目はカールは作らなくてよい）</p>			
履修上の注意	<p>日頃から道具の整理整頓をしっかりとこなうこと。実習にふさわしい服装、髪型であること。また、道具を使用するため、爪の長さは基準以内にする。習熟別授業になるため、自主的にトレーニングを行きましょう。</p>			
その他	<p>ノート、筆記用具持参すること。</p>			

授業科目名	美容一般 まつエク・着付け			開講年度	令和6年度
担当教員	七沢 佐藤		教員の実務経験の有無	有（4年以上）	
授業科目区分	必須	授業形態	実習	単位数	1単位
対象学年	1年		開講学期	1学期	
履修条件					
教科書・教材	まつ毛エクステンション道具一式、理論2、実習2、SBS着付けテキスト				
授業の到達目標					
まつ毛エクステンションの基礎技術を知る 和装の基本的知識を理解し、SBS着付けディレクター3級検定を受験する					
授業概要					
まつ毛エクステンションの基礎技術を知る 着物の知識（各部の名称）を身に付け、浴衣の着付けにおける準備の仕方、着付け、着物のたたみ方を学ぶ（SBS着付けディレクター3級合格基準）					
回	授業内容				
①	まつ毛エクステンション概論、用具について			まつ毛エクステンションについての基本知識を知る	
②	道具の使い方、基礎練習（ツイーザー）			ツイーザー、グルーについて知る	
③	道具の使い方、基礎練習（掻き分け、装着）			ツイーザー、グルー、エアプロアについて知る	
④	道具の使い方、基礎練習（テーピング）			テーピングについて知る	
⑤	まつ毛エクステンションの装着			ツイーザーの持ち方に注意しながら装着する	
⑥	SBS着付け3級（浴衣）検定説明			検定内容を理解する（浴衣の各部の名称）	
⑦	準備確認、体形補整の仕方、たたみ方			準備、片付けの仕方・体型補整の役割の理解	
⑧	準備・補整・浴衣の着付け（帯以外）			ひもの結び方を理解する	
⑨	〃			（裾合わせ、襟合わせ、お端折りの整え方）	
⑩	浴衣の着付け（帯まで）			半幅帯の巻き方、締め方、帯結びができる	
⑪	〃			準備チェック、帯の結び方・整え方	
⑫	準備・補整・浴衣の着付け（帯まで）			25分 採点項目のチェック	
⑬	〃			20分 採点項目の完成度を上げる	
⑭	学科対策・模擬テスト			着物・小物の名称や着用時期など	
⑮	SBS着付け3級（浴衣）検定			準備10分、着付け20分	
期末試験	学科30分、準備10分、着付け（浴衣）20分				
成績評価	SBS着付け3級（浴衣）検定基準に準ずる				
履修上の注意	着付け時：爪（フラットで短く）、アクセサリー類は外す（ピアスは小ぶりの引っかからないもの耳たぶ1つのみ）				
その他	着付け時タオル4枚、風呂敷を持参				

授業科目名	美容一般(メイク)		開講年度	令和6年度
担当教員	大場 佐藤		教員の実務経験の有無	有(4年以上)
授業科目区分	必修	授業形態	実習	単位数 1単位
対象学年	1学年		開講学期	1学期
履修条件	なし			
教科書・教材	メイク道具一式			
授業の到達目標				
①メイクアップアイテムの正確な使用方法を理解し、安全に施術することができる				
②各パーツの施術を正確に行うことができる				
③メイクに関する基礎知識を理解する				
授業概要				
SBSメイク3級のトレーニングを通して、顔全体および各パーツに対する基本的なメイク施術をトレーニングする。SBSメイク検定3級合格を目指す。				
回	授業内容			
①	メイク技術理論、テーブルセッティング			
②	メイクアップ理論と実技			
③	チーク、ハイライト、シャドウ理論と実技			
④	修正メイクアップとスキントラブル理論、アイシャドウ理論と実技			
⑤	アイブロウ理論と実技			
⑥	アイシャドウ、アイライン理論と実技			
⑦	アイラッシュカーラー、マスカラ理論と実技			
⑧	つけまつ毛理論と実技			
⑨	リップ理論と実技			
⑩	フルメイク① 実技試験シミュレーション			
⑪	フルメイク② 実技試験シミュレーション			
⑫	フルメイク③ 実技試験シミュレーション			
⑬	フルメイク④ 実技試験シミュレーション			
⑭	SBSメイク検定3級(学科)			
⑮	SBSメイク検定3級(実技)			
成績評価	SBSメイク検定3級にて評価する			
履修上の注意	まつ毛エクステンション、まつげパーマは外しておくこと。			
その他	なし			

授業科目名	選択メイクⅠ			開講年度	令和5年度
担当教員	野本 今井		教員の実務経験の有無	有（4年以上）	
授業科目区分	選択	授業形態	実習	単位数	1単位
対象学年	1学年		開講学期	2学期	
履修条件	特になし				
教科書・教材	メイク道具一式				
授業の到達目標					
顔の標準プロポーションについて理解する。ベースメイクにおけるタテヨコ・直線曲線の修正メイクができるようになる。					
授業概要					
顔の標準プロポーションを理解し、直線・曲線を意識したベースメイクができるように、相モデルでトレーニングを重ねる。様々なパターンの顔でメイクを行い、修正方法の知識と技術を身につける。					
授業内容					
①	顔の標準プロポーションを理解する。				
②	骨格理解(相モデル) 縦長・直線について				
③	骨格理解(相モデル) 横広・曲線について				
④	ベースメイク(相モデル) モデルに合わせた顔型修正				
⑤	ポイントメイク(アイブロウ、目元)				
⑥	ポイントメイク(アイシャドウ、アイライン)				
⑦	ポイントメイク(リップ、チーク)				
⑧	顔分析&修正メイク				
⑨	顔分析&修正メイク				
⑩	期末試験 本試				
⑪	TBBフェスタ用メイク練習				
⑫	TBBフェスタ用メイク練習				
⑬	TBBフェスタ用メイク練習				
⑭	修正メイクの復習(期末試験 追試)				
⑮	修正メイクの復習(期末試験 再試)				
成績評価	期末試験成績により評価				
履修上の注意	まつ毛エクステンション、まつげパーマは外しておくこと。				
その他	なし				

授業科目名	選択メイクⅡ			開講年度	令和6年度
担当教員	野本 大場 今井		教員の実務経験の有無	有(4年以上)	
授業科目区分	選択	授業形態	実習	単位数	1単位
対象学年	1学年		開講学期	3学期	
履修条件	なし				
教科書・教材	メイク道具一式				
授業の到達目標					
ボディアートの必要機会とブライダルでの使用方法について理解し、エアブラシ、ボディジュエリーの基礎技術を修得する。					
授業概要					
ブライダルの場面を想定したエアブラシ、ボディジュエリーの基礎技術を学んでいく。正しい使用方法(セッティング及び片付け含む)を理解し、様々な表現ができるようになる。					
回	授業内容				
①	エアブラ・ボディジュエリーの存在価値について、ブライダルシーンでの活用法				
②	エアブラシ1:道具の使用方法とクレンジング法				
③	エアブラシ2:表現の可能性について学ぶ				
④	エアブラシ3:トレーニング				
⑤	ボディジュエリー1:道具の使用方法とクレンジング法				
⑥	ボディジュエリー2:表現の可能性について学ぶ				
⑦	ボディジュエリー3:トレーニング				
⑧	エアブラ+ボディジュエリー作品練習1:デザイン考案				
⑨	エアブラ+ボディジュエリー作品練習2:デザイン考案				
⑩	エアブラ+ボディジュエリー作品練習3:練習と作品ブラッシュアップ				
⑪	エアブラ+ボディジュエリー作品練習4:練習と作品ブラッシュアップ				
⑫	エアブラ+ボディジュエリー作品練習5:タイムどり				
⑬	エアブラ+ボディジュエリー作品練習6:タイムどり				
⑭	期末試験				
⑮	エアブラシでのタトゥー隠し技術				
成績評価	期末試験成績で評価				
履修上の注意	相モデルで行う。腕に施術を行う。				
その他	なし				